

CEATEC2019会期中に自動運転の公道実証実験を実施します！ ～県内初、ハンドルがない自律走行バスが公道を走行～

千葉市とCEATEC実施協議会及びSBドライブ株式会社は、CEATEC2019会期中（10月15日（火）～18日（金））に幕張新都心の公道で自動運転の実証実験を実施しますので、お知らせします。

また、10月14日（月・祝）に運行セレモニーを開催しますので、併せてお知らせします。

なお、今回の実証実験は本市とSBドライブ株式会社の親会社であるソフトバンク株式会社が本年8月22日に締結した包括連携協定に基づく第一弾の取組みとなります。

1 実証実験概要

(1) 目的

Society 5.0（超スマート社会）の実現とそれを体現するため、CEATEC開催20周年特別企画「スマートモビリティイノベーション」として、自動運転機能を備えた小型バスの公道走行により、新たな社会や暮らしの提案及びビジネスの創出に向けた情報交流の機会を提供する。

(2) 日時

令和元年10月15日（火）～18日（金） 10:30～16:00（予定）

※天候その他の事情により運行時間の変更及び中止となる可能性があります。

(3) 走行コース（右図）

幕張メッセ国際展示場9～11ホール
一階南広場ロータリー発着の周回コース
1周約1,500mを低速（約18km/h）で走行



走行コース

(4) 乗車方法

当日乗車整理券を配布（事前予約受付なし）

※整理券配布方法、運行スケジュールなどの詳細情報は、本日よりCEATEC公式WEBサイト（<http://www.ceatec.com/ja/specialplan20th/specialplan20th01.html>）にて公開します。

(5) 使用車両

NAVYA ARMA（仏NAVYA社製）

※自動運転機能を有する電気自動車。自動運転機能を使用しながら十分な訓練を受けた運転員及び運行を補助する保安要員が車両に乗車し、緊急時は手動運転に切り替えるほか、不測の事態に備えるなどの安全措置を取る。

(6) 実施体制

企業・団体名	役割
CEATEC実施協議会	実施主体
SBドライブ株式会社	車両提供、技術支援
株式会社幕張メッセ	企画協力
千葉市	関係団体等との調整、実証実験の支援

2 運行セレモニー

(1) 日時

令和元年10月14日(月・祝) 12:00~12:30 <雨天中止>

(2) 場所

幕張メッセ国際展示場9~11ホール一階南広場

(3) 出席者(予定)

千葉市副市長 鈴木 達也

CEATEC実施協議会エグゼクティブプロデューサー 鹿野 清

SBドライブ株式会社代表取締役社長 兼 CEO 佐治 友基

株式会社幕張メッセ代表取締役社長 藤野 達夫

(4) 取材について

取材を希望される方は、直接現地にお越しく下さい。なお、取材にあたっては、自社腕章等を着用してください。

<CEATEC概要>

- あらゆる業種・産業を網羅する「Society 5.0の総合展」。「つながる社会、共創する未来」をテーマに、「CPS/IoT」やロボット、人工知能(AI)などの先端技術を活用した未来の社会に向けた、企業・団体のビジョンや業際領域の新たなビジネスモデルが多数出展。
- 2018年実績(4日間) 来場者数156,063名、出展社数725社/団体

<SBドライブ株式会社企業概要>

- ソフトバンク株式会社の子会社であり、自動運転技術の導入・運用に関するコンサルティング、スマートモビリティサービスの事業を行う。全国各地で自動運転に関する実証実験を実施。

【NAVYA ARMAの概要】

乗車定員：11人

動力：電動機(定格出力15kw×1基)

車両寸法：全長4.76m、全幅2.11m、全高2.65m

車両重量：2,470kg



(写真) SBドライブ株式会社より提供